

地域おこし協力隊 活動を終えて



縁は円に。 田中隼

この度、3月末日をもちまして協力隊の任期が終了となります。コロナ禍での活動は、制限や制約が多く、迷いや不安の絶えない日々でした。一方で、その分地域を考える時間や地域事業者の方々と関わる機会が増え、有意義な2年間を過ごすことができました。あたたかく迎えてくださった皆さまには心より感謝申し上げます。

三好市地域おこし協力隊の任期を終了し、活動を終えたお二人。活動を通じて得たもの、支援への感謝、今後の活動などについて皆さまにご報告します。



恵まれていた3年間 張楠

3年間の協力隊生活はあっという間に終わります。振り返ってみれば、楽しい時もあれば悩んだりする時もありましたが、皆さまのおかげで悔いのない協力隊活動をやり遂げられたと思っています。この場をお借りして、今までお世話になってきた方にお礼を申し上げます。

【質の高い関係人口】
移住してからの2年間、様々な地域で沢山のヒト・モノ・コトに出会いました。その過程で強く感じたのは、地域ごとに得意分野が大きく異なるということです。観光資源だけではなく、そこに住む人、そこで活動する人、地域によって移住する人のタイプも異なります。もし、それぞれの得意分野をシェアできれば、スキルシェアの上流、言わば「人のシェア」。今後は、地域のファンからもう一歩進んだ、仕事を通じて地域と関わる

【三好スタディツアー】
特に印象に残っている活動は、三好スタディツアーの企画です。三好市が取り組む関係人口の創出やワーケーションへの導線づくり、その他ビジネスマッチング機会の創出には、市外人材が三好市を訪れ、市内人材と交流する場が必要と考えました。
そこで、以前より交流のある香川県三豊市と琴平町の事業者に参加していただき、三好市をフィールドとして市内のブレイヤーやキーパーソンと交流するツアーを企画しました。残念ながらコロナ感染拡大の影響で任期中の実施はできませんでしたが、この3市町で継続的な繋がりが生まれるよう、今後注力していきます。

【質の高い関係人口】が課題解決のカギとなります。ヒトとヒトが繋がり、モノをつくり、コトを成す。そんな循環や意識が三好市はもちろんです、日本全体に広まって欲しいと思います。その一端を担ったため、三好スタディツアーのような機会をつくっていきます。

【今後について】
一つの企業や仕事に依存する時代ではないので、過去に経験したメディアに関わる仕事を軸に、複数の仕事を並行して行うパラレルワーカーとして三好市を拠点に活動します。自分のキャリアを自分の力でデザインしなければなりません。尊敬する人や好きな人と自由に仕事ができることにワクワクしています。今後は私自身も人と人を繋ぐ役割を担えるようより一層努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

毎年、活動のテーマが変わっており、活動内容も多岐にわたりました。一年目は地域のことをよく勉強し、地域の皆さまと交流しました。二年目に入ると、コロナ感染拡大の影響のため、最初の半年間は何もできませんでしたが、今こそできること、やるべきことを考え直して、地域の魅力再発見に挑戦してみました。そして、三年目の協力隊事業として、在住外国人向けのモニターツアーを企画し、4回も実施させていただきました。実施にあたって、事業者の皆様やDMOさらの郷の協力をいただいで、実りのある結果を出すことができました。

協力隊活動で気づいたことはたくさんありますが、やはり地域おこしの主役は地域の方々ではないかと思っています。観光第一線で活躍されている方はもちろん、関連事業者や団体、私が所属している観光戦略課の職員もみんなやる気満々で輝いています。地域の皆さまこそ三好市にとつてかけがえのない宝物です。協力隊の私にとつて、皆さまと共に歩んできたこの3年間は素敵な思い出となりました。

今までの人生で色々体験してきましたが、3年前協

力隊に入った初心はずっと忘れてはいません。それは、観光・インバウンドに携わりながら、国際交流を続けていきたいという思いです。観光・インバウンド業は今コロナ禍でどん底に落ちましたが、いつか必ず回復すると信じています。また、近い将来に外国人の観光客が再び三好市を訪れて、この美しい自然や素晴らしい歴史・文化を堪能し、地域の方と交流して素敵な思い出を共に作れると確信しています。



県内協力隊との交流会



王地小学校で講演活動



市内撮影スポット100を選定し市HPに掲載



在住外国人向けのモニターツアー



あわこいで小籠包教室を開催



ひらら焼きでPR活動